



Welcome to Nagasaki  
Nagasaki "SARUKU" Course Map

Area 07  
"Urakami + Inasa"

長崎さるくコースマップ

# 浦上と稲佐

浦上川の西側と東側にそれぞれの物語

さるくコース / 1 "SARUKU" Course 1 二十六聖人の道を歩く  
 さるくコース / 2 "SARUKU" Course 2 ロシアと稲佐・交流支えたお祭の道  
 オプションコース Option Course 左岸&右岸を川さるく

長崎さるく



「長崎流まち歩き「さるく」は3タイプ

「さるく」とは、まちをぶらぶら歩くという意味の長崎弁。このマップを入手した瞬間から自由に歩く「遊さるく」以外にも、ガイドがご案内する「通さるく」、長崎ならではの体験メニュー「長崎を味わう「学さるく」を好奇心おもむくまにまでご参加いただけます。

- 長崎「遊さるく」→ 自由気ままに長崎散策
- 長崎「通さるく」→ 長崎名物ガイドツアー(予約制)
- 長崎「学さるく」→ 長崎ならではの体験する(予約制)

「通さるく」「学さるく」の申込方法

ご予約申込先は2つの方法

ホームページ

さるく 検索

<http://www.saruku.info/>

電話 095-811-0369

受付時間/9時~17時半(12/29~1/3休)

コースによって内容や料金が異なります。

詳しくは、「長崎さるく」のホームページ又はパンフレットをご覧ください。

長崎さるくナビ 無料

長崎さるくの人気コースがアプリになったよ!地図に従って散策すれば音声案内が長崎の魅力発信。ゆかりのある古写真や、近隣のショップも紹介。トイレの場所も教えてくれるよ。

iPhone・iPadをお持ちの方

1. App Storeで「長崎さるくナビアプリ」を検索

2. アプリ詳細説明画面で「Appをインストール」ボタンを押してください。

Androidをお持ちの方

1. Google Playで「長崎さるくナビアプリ」を検索

2. アプリ詳細説明画面で「インストール」ボタンを押してください。

お問合せ/長崎国際観光コンベンション協会 長崎さるく受付 電話/095-811-0369

※データはすべて平成30年3月末現在のものです。

発行/一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会 企画/さるくマップ制作委員会 協力/NPO法人長崎コンパドル 編集/川島真理 制作/一般社団法人 ナガサキメディアデザインセンター アートディレクション/岡本一宜 デザイン/岡本一宜 デザイン事務局+山口なみ 総編集/中野友方/アトリエプラン イラストレーション/山口なみ 表紙写真/松村康希 監修/長崎史談会

# 浦上と 稲佐の キーパーソン

The key person of a Urakami & Inasa



道永 栄 Michinaga Ei

万延元年(1860)・昭和2年(1927)熊本県大草生まれ。茂木での奉公を経て、稲佐のロシア人将校クラブで働きながらロシア語を学びます。その後ウラジオストクや上海へも渡航し、帰ってからは旭町の高台に、ロシア将校のためのホテルヴェスナを開業。日本とロシアの交流に尽力し、ロシア人乗組員からは「我が母マーチ」と呼ばれていたとか。



ニコライ・アレクサンドロヴィッチ・ロマノフ (ニコライ2世)

Nicholai Aleksandrovich Romanov

1898年~1918年

ロシア最後の皇帝。皇太子時代、明治24年(1891)に来日した際に長崎に立ち寄りました。その後に向かった滋賀県大津では、日本人の暴漢に頭を切りつけられる「大津事件」があり、国際問題に発展しました。



福山 雅治 Fukuyama Masaharu

長崎市出身。平成20年(2008)に長崎市より「長崎ふるさと大使」に任命。このエリアには、福山さんが幼少の頃通った宝珠幼稚園、かつて赤いバイクで駆け抜けていたという旭大橋、自作の楽曲にも歌われた山王神社の大クスノキ、大がかりなライブを行った稲佐山等があります。長崎を「MY HOME TOWN」と歌いあげる「18~eighteen~」を聞きながら、彼が青春時代を過ごしたエリアで、ぶらり「福山さるく」も一興です。



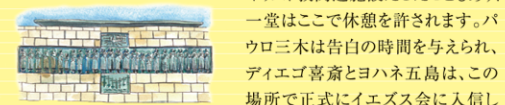
岩崎 弥太郎 Iwasaki Yataro

天保5年(1835)・明治18年(1885)三菱財閥の創始者。土佐藩安芸出身。幕末の藩政改革の折、土佐藩経営の開成館を受け継ぎ、土佐開成商社(後の九十九商会)を起こして海運業にのりだします。その後も炭鉱、造船など、国家的な事業を展開し、三菱の基礎を造りました。

毎年、2月5日に近くなると時津から浦上を抜けて西坂の丘に向かって歩く一団があります。かつて日本二十六聖人が捕縛されて進んだ浦上街道を、自らの足で歩き、聖人に思いをはせようという、熱心なキリスト教信者の方々です。元気な方は時津から。なかには山王神社付近から合流する方々の姿もあります。

慶長元年12月19日(1597年2月5日)。6人の宣教師と20人の日本人信者、計26人が歩いた浦上街道の道中にはドラマもありました。そのなかで12歳の少年がいることを知り憐れんだ役人が「信仰を棄てれば助けてやる」と言ったのを、「つかの間の命と永遠の命を換えることはできない」と断ったルドルフ茨木。途中、坂本町にあったサンラザロ病院は、キリスト教関連施設だったこともあり、一堂はここで休憩を許されます。パウロ三木は告白の時間を与えられ、ディエゴ喜齋とヨハネ五島は、この場所で正式にイエズス会に入信しました。濃い霧が立ち込めるなか、およそ3里の行程を歩き、西坂の丘に着いたのは午前11時。13歳のアントニオは、涙を流し出迎えた両親に「泣かないで。自分は天国へ行くのだから」。14歳のトマス小崎は、「弟たちをお願いします」と母親あてに手紙を書き、父ミゲル小崎とともに十字架にかけられます。群衆が見守るなか、26人は棺で両側から胸を突かれ、処刑されたのです。

## 二十六聖人の 歩いた道と 残した物語



浦上・稲佐を読み解く ヒント

## 長崎が 世界新三大夜景に 選ばれた理由

長崎、香港、そしてモナコ。平成24年(2012)に、夜景コンベンションビューローにより認定された「夜景の素晴らしい世界の都市ベスト3」、それが「世界新三大夜景」。

ほかの夜景自慢の都市と比べて、長崎の夜景が評価されたのは、名所である稲佐山のほかに、南山手の旧居留地を抱える鍋冠山や、立山、風頭山など、さまざまな角度から、趣きの違う夜景が楽しめることが挙げられます。

例えば、長崎港を中心に街の賑わい全体を眼下におさめ、浦上北部や西部の福田港をふくめ360度全体を見渡すならば、稲佐山がおすめです。333mといえば…あの東京タワーと同じ高さということ。港に停泊する客船のライトアップを狙うならば168mの鍋冠山。ぐくっとアップに、頭からつっこんでいくような迫力です。住宅地でもある立山や風頭山は公共バスで気軽に上がれるのがいいところ。華やかな街明かり越しに、夕暮れに沈んでいく港と山並みが時と共に変化していく様が堪能できます。連泊して見比べてみるのも楽しいですね。

実際、この世界新三大夜景に選ばれて以降、長崎の宿泊客の数は増えているのだそうですよ。



## 路面電車/路線案内



運賃(全線均一) 大人 / 120円 小児 / 60円

電車一日乗車券 大人 / 500円 小児 / 250円

お問合せ/長崎電気軌道(株) 電話/095-845-4111

※新地中華街で、車内においてのりつぎ券を発行します。

●電車一日乗車券は総合観光案内所(JR長崎駅構内)、市内主要宿泊施設などで販売しております。(電車内での販売はございません。)



Urakami and Inasa

# 浦上と稲佐

浦上街道と、稲佐ロシア村。浦上川を挟む2つの地域には、趣きの違う歴史コースがあります。

浦上

Urakami Area

Spot 1

## 山王神社二の鳥居 (一本柱鳥居)

青空にすくと立つ原爆の証

原爆の爆風で笠石がねじまげられ半分が倒壊し、残った片方が一本柱のまま立っている。通称「一本柱鳥居」。原爆直後の写真にもその姿は残っており、時代を越え、無言で原爆の威力を訴え続けています。

Spot 2

## 山王神社のクスノキ



あの福山雅治さんも歌ったクスノキ

爆心地から約800メートルにあった山王神社は、社殿はもちろん、境内の大クスノキも爆風や熱線にさらされました。このまま枯死するかと思われていた矢先、2ヵ月後には再び芽吹き、打ちひしがれていた住民に大きな希望と勇気を与えました。ちなみにこのクスノキの周辺は、16世紀末、サンラザロ病院がありました。京都や大阪で捕縛された外国人宣教師と日本人信者26人が、処刑地西坂へ向かう際に休憩した場所でもあります。その豊かな葉のざわめきは、「日本の音風景百選」にも選定。平成26年(2014)には、長崎市出身のアーティスト、福山雅治さん(表面参照)がこの樹をモチーフに楽曲「クスノキ」を発表しました。

Spot 3

## 浦上街道の碑

海岸線に沿っていた昔の街道

長崎街道が一般的になるのは江戸中期以降。それまでは、この浦上街道が長崎第一の街道でした。時津街道ともよばれ、現在の国道206号線にほぼ平行しています。車往來の激しい道にその面影はほとんどありませんが、この碑のある坂本町から始まる上り下りの激しい階段道は、西坂町にかけてほとんどそのままの佇まいで残っています。なぜなら、そこから低い土地は当時まだ海で、後世になって埋め立てられたのです。日本26聖人はこの街道を護送されていきました。

Spot 4

## 坂本国際墓地

もっとも新しく大きい国際墓地

トーマス・B・グラーバ、ユダヤ人社会の実力者レスナー、斉藤茂吉も詠った貿易商ビナテール。そして永井隆博士の墓もあります。ここ坂本国際墓地は、長崎市にある国際墓地のなかでも最も新しく、道路を挟んで新旧二つの墓域があります。

Spot 5

## てんじんくん

ゆくりすすむ懸垂式モレール

坂の街長崎は、階段で行き来するしかない高台にも高齢者が暮らしています。そこで平成14年(2002)に天神町に設置された「てんじんくん」を皮切りに、市内数か所に、住民のための斜面移送機が設置されました。2名定員のゴンドラは、専用カードで操作し、ゆくりレールを上がっていきます。斜面面を電話ボックス状の箱が動いていく様は、長崎ならではの不思議な風景です。

Spot 6

## 生目八幡宮

眼病治療の願掛けは紙に「目」

街を見下ろす丘に佇む小さな神社。ここは大正13年(1924)に建立され、眼病の神として今も親しまれています。願掛けは、紙に年齢の一つ加えた数の「目」または「め」の文字を書き奉納する習わしで、社殿には多くの紙が貼られています。「目が生まれる」という語呂から商売繁盛の御利益も。

Spot 7

## 聖フィリッポ西坂教会

双塔の教会は現代建築の傑作

天にのびる2本の塔が印象的な西坂教会。壁や塔には、モザイク状に嵌め込まれた焼き物は、二十六聖人が歩いた京都から長崎までの道沿いで焼かれたもの。設計は今井兼次。現存する作品の中でも傑作といわれており、昭和37年(1962)生まれのモダニズム建築です。ノアの方舟をイメージした船型の天井、出窓やステンドグラス、鐘など細部にこだわった意匠をお見逃しなく。聖堂には、マニラから里帰した聖者の遺骨が納められています。

Spot 8

## 日本二十六聖人殉教記念碑

舟越保武が魂をこめた傑作

慶長元年12月(1597年2月)、浦上街道を経て西坂に到着した信者や宣教師ら26人は、十字架にかけられ処刑されました。それから265年後の文久2年(1862)に26人は聖人に列せられ、昭和37年(1962)には列聖100年を記念して記念碑が建てられています。作者は彫刻家舟越保武氏。讃美歌を歌いながら昇天していく様子が表わされています。



Spot 9

## 日本二十六聖人記念館



キリスト教の伝来、迫害、復活

記念碑の裏にまわるど、そこにはひっそりと記念館があります。平成24年(2012)に展示を再整備し、二十六聖人の関連資料をはじめ、日本におけるキリスト教の歴史の伝来、迫害、復活、かくれキリシタンなど、テーマ別に順を追って見学できます。2階の「栄光の間」は、26人のうちの3人の遺骨が納められており、讃美歌が降り注ぐ静かな空間です。

- 開館9時~17時 ●年末年始休館
- 入館料大人500円、高中生300円、小学生150円
- 095-822-6000

Shop Information

① グレーブナッツ A-2

カジュアルで美味しいパスタのお店。ランチもあり。自然派ワインの「エリプティヴィン」も併設。

- 長崎市銀座町4-51
- 095-843-6444

② まるなか本舗 総本店 A-3

蒲鉾作りの工程を立体的な絵にした看板が目印。創業昭和6年の蒲鉾店。中はふくらで外は香ばしい串付きの「焼かまが」が人気。

- 長崎市岩川町1-4
- 095-849-1202

③ Marco Polo A-2

スイスで修業したオーナーが焼くヨーロッパスタイルのパン。サンドイッチほかフレッズエールやワッフルも人気。

- 長崎市岩川町17-19
- 095-865-8354

④ カフェと宿 ROUTE B-1

聖フィリッポ教会の双塔を鑑みながらサンドイッチやマフィンが楽しめます。ランチサイクルでき、新たにB&Bも展開。気軽に宿泊できます。

- 長崎市西坂町5-14 2F
- 095-895-8965

⑤ 杉永かまぼこ B-2

「長崎おでん」や新鮮なアジア風味と玉ねぎで作った「おさかなステーキ」など、いずれも人気。

- 長崎市幸町18
- 095-820-1230

Spot 10

## ホテルヴェスナ跡

美しい名前を持つロシア人のためのホテル

「ヴェスナ」とはロシア語で「春」。このホテルを運営していたのは、稲佐お栄こと、道永栄。嘉永6年(1853)のプチャーチン来航から日露戦争開戦前までの約50年間、長崎港には多くのロシア船が訪れ、その停泊場として近かった稲佐はロシア村とも呼ばれました。明治22年(1889)にお栄さんが開業したホテルヴェスナは、ロシアの極東艦隊が長崎に滞在する間は連日パーティが催されるなど、大変な賑わいでした。

Spot 11

## ステッセル将軍一行上陸の碑

あの勇将も稲佐の地を踏んでいた

日露戦争で乃木将軍と旅順をめぐり戦ったロシアのステッセル将軍。明治38年(1905)開城し、帰国の途に就く前に長崎に上陸しました。一行はホテルヴェスナに数日間滞在し、お栄の暖かきもてなしを受け、上海航路でロシアに向かいました。

Spot 12

## お栄さんの道

お栄さんが毎日眺めていた長崎港

お栄さんがヴェスナに続いて建てた滞在型のホテルと自宅へ続く階段道。天性の美貌と気風の良さで慕う人も多かったという彼女のイメージそのまま、あでやかな石碑が目印です。そのまま登っていくと、港を一望できる絶景の鳥居神社にたどり着きます。

Spot 13

## 悟真寺 (浄土宗 終南山悟真寺)

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 14

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 15

## 三ツ星

三ツ星の野球場や体育館が近いこともあり、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 16

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Inasa Area



Spot 17

## 旭町棧橋

渡し船が行き交っていた棧橋

かつて海上交通が盛んだった明治から昭和にかけて、三菱重工長崎造船所に通う人々をはじめ多くの住人が、この棧橋と対岸の元船町との間を船で行き来していました。今やその面影は、バス停名として留めています。

Spot 18

## 三ツ星

三ツ星の野球場や体育館が近いこともあり、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 19

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 20

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 21

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 22

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 23

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 24

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 14

## 稲佐悟真寺国際墓地



Spot 15

## 長崎桜の道

新提案「川さるく」はここで

梁川町交差点から浦上川沿いに敷かれた遊歩道は、柔らかい素材の路面が足に優しく、川風に吹かれながらの「さるく」にうってつけ。藤棚や木のベンチ、珍しい種類の桜並木が続きます。途中には県立長崎西高のボート部の倉庫もあり、気候のよい日はカヌーも浮かんでいます。三菱重工の野球場や体育館が近いこともあり、アスリートが走り込む光景もよく見られます。

Spot 16

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 17

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 18

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 19

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 20

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 21

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 14

## 稲佐悟真寺国際墓地



Spot 15

## 長崎桜の道

新提案「川さるく」はここで

梁川町交差点から浦上川沿いに敷かれた遊歩道は、柔らかい素材の路面が足に優しく、川風に吹かれながらの「さるく」にうってつけ。藤棚や木のベンチ、珍しい種類の桜並木が続きます。途中には県立長崎西高のボート部の倉庫もあり、気候のよい日はカヌーも浮かんでいます。三菱重工の野球場や体育館が近いこともあり、アスリートが走り込む光景もよく見られます。

Spot 16

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 17

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 18

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 19

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 20

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 21

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 16

## 淵神社



Spot 17

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 18

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 19

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 20

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 21

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 22

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

Spot 23

## 稲佐

稲佐の歴史を見守ってきた赤門

長崎では最古の由緒を持つ寺院で、慶長3年(1598)筑後善導寺の僧侶菅が開創。唐商人の菩提寺となりました。赤門とよばれる赤い山門は、幕末に建造され、古版画などにも描かれています。現在の住職で23代目。

●このマップは「さるくマップ制作委員会」で制作しました。おすすめポイントやショップもテーマで検索してピックアップしましたのもです。●施設の開館時間は通常の場合で、年末年始、季節によって変動あり。●アトラはすべて平成30年3月末現在のものです。



# Welcome to Nagasaki

Nagasaki  
"SARUKU"  
Course Map

## 長崎さるく説明板

- 1 北瀬崎米蔵跡
- 2 桑原社
- 3 大石燈籠
- 4 浄土宗 悟真寺
- 5 道永栄

昔のまちなみや  
長崎ゆかりの  
人物の写真等で  
往時を偲ぶことが  
できます。  
4カ国語表記(日・英・中・韓)

このあたりからの  
夜景もグッド。  
バスの  
西坂経由  
立山行きで  
堪能できます

1 さるくコース/1  
二十六聖人の道を歩く  
3.0km/238kcal

2 さるくコース/2  
ロシアと稲佐・交流支えたお栄の道  
1.7km/136kcal



Camphor tree of Sanmo Shrine

かつて設下は  
高でしたが  
坂っぶの  
道もよく  
浦上街道

ウッド仕上げの  
遊歩道。  
しゃれた  
石のベンチで  
一休み

鏡座小学校の  
壁には  
長崎出身の漫画家  
清水敏氏の  
カツラの漫画が  
のびのびと  
描かれています

長崎西高の  
カヌー部の  
倉庫あり。  
ここから艇を出て  
浦上川で  
練習しています

この道はゴム敷きで  
足に優しく、  
ジョギングや  
ウォーキングに  
ぴったり。  
途中には東屋風の  
藤棚とベンチもあり

稲佐山中腹は  
夜更自慢の  
ホテルが。  
併設された飲食店  
だけの利用も  
できます

展望台へは  
車やタクシーでも  
登れます。  
昼と夜では違う  
魅力のパノラマが  
楽しめます



One Pillar Torii



MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES  
NAGASAKI SHIPYARD  
MUSEUM



Nagasaki Ropeway